

第4節 結核・感染症対策

1 結核予防

(1) 結核罹患状況

わが国の結核状況は、新登録患者数が年々減少しているものの、依然としてわが国最大の感染症の一つであり、世界的にも結核の中まん延国と位置付けられている。

平成22年12月末における管内での登録者数(表1-1)は、82人で昨年末と同数で減少は見られなかった。

平成22年の石川県内新登録者数(表1-1)は、170人から192人に再び増加に転じた。管内でも、52人で昨年の37人から15人増加し、罹患率も22.1に上昇した。感染の危険性が高い塗抹陽性者数は21人で昨年の11人より10人の増加で、新登録患者に占める割合でも、29.7%から40.4%と小さからぬ変化が見られた。

患者の発見方法別内訳は、医療機関受診が45人(86.5%、昨年は83.8%)、定期健康診断(職場・住民)が6人(11.5%、昨年は10.8%)、定期外健康診断(家族・その他の接触者)では見られなかった(0%、昨年は2.7%)。

年齢別(表2-1)では70歳以上が35人(うち80歳以上が25人、このなかの7割)と全体の67.3%を占め、こちらも昨年の22人から大きく増加した。

また、潜在性結核感染症に該当する者は(表2)3人であった。

管
表1-1 結核患者数の年次推移 (単位 上段：人 下段：人口10万対)

		H17	H18	H19	H20	H21	H22
南加賀管内	新登録患者数	39	42	50	41	37	52
	罹患率	16.5	17.7	21.1	17.3	15.7	22.1
	年末登録患者数	80	79	86	83	82	82
	有病率	10.1	10.1	20.8	10.6	10.6	13.6
石川県	新登録患者数	205	190	202	170	171	192
	罹患率	17.5	16.2	17.3	14.5	14.6	16.5
	年末登録患者数	405	382	373	374	359	350
	有病率	11.4	10.2	12.3	10.0	11.0	11.3
全国	新登録患者数	28,319	26,384	25,311	24,760	24,106	23,261
	罹患率	22.2	20.6	19.8	19.4	18.9	18.2
	年末登録患者数	68,508	65,695	63,556	62,244	59,518	55,573
	有病率	18.8	17.2	16.2	15.7	14.9	14.0

$$\text{罹患率} = \frac{\text{新登録患者数}}{\text{人口}} \times 10\text{万}$$

$$\text{有病率} = \frac{\text{活動性結核患者数}}{\text{人口}} \times 10\text{万}$$

表1-2 管内結核の現状（市町別）

平成22年1月1日～平成22年12月31日（単位：人）

区分		市町				
		管内総数	小松市	加賀市	能美市	川北町
死亡数	結核死亡数	5 (2.1)	2 (1.8)	1 (1.4)	2 (4.1)	0 0.0
	結核外死亡数	17 (7.2)	9 (8.3)	7 (9.7)	1 (2.1)	0 0.0
年末現在登録者数	登録者数（平成22年12月31日現在）	81 (34.5)	33 (30.5)	27 (37.5)	19 (39.1)	2 (32.7)
	肺結核活動性喀痰塗抹陽性	15 (6.4)	3 (2.8)	7 (9.7)	4 (8.2)	1 (16.4)
	肺結核活動性その他の菌陽性	6 (2.6)	2 (1.8)	2 (2.8)	2 (4.1)	0 0.0
	肺結核活動性菌陰性その他	1 (0.4)	0 0.0	0 0.0	1 (2.1)	0 0.0
	肺外結核活動性	9 (3.8)	5 (4.6)	2 (2.8)	1 (2.1)	1 (16.4)
	新登録患者数	52 (22.1)	21 (19.4)	19 (26.4)	10 (20.6)	2 1.0
新登録患者数	新登録肺結核活動性喀痰塗抹陽性	21 (8.9)	8 (7.4)	8 (11.1)	4 (8.2)	1 (16.4)
	新登録肺結核活動性その他の菌陽性	14 (6.0)	5 (4.6)	7 (9.7)	2 (4.1)	0 0.0
	新登録肺結核活動性菌陰性その他	2 (0.9)	0 0.0	0 0.0	2 (4.1)	0 0.0
	新登録肺外結核活動性	15 (6.4)	8 (7.4)	4 (5.6)	2 (4.1)	1 (16.4)

（ ）内は平成22年10月1日現在人口（推計）による人口10万対

表2-1 新登録患者数（活動性分類・年齢階級別） 平成22年1月1日～22年12月31日（単位：人）

区分 年齢階級	活 動 性 結 核								潜在性 結核 感染症 (別掲) 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺外結 核 活 動 性	
		総 数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時そ 他の結 核菌陽性	登録時 菌陰性 その他		
			総 数	初回治療	再治療				
総 数	52 (22.1)	37 (15.8)	21 (8.9)	18 (7.7)	3 (1.3)	14 (6.0)	2 (0.9)	15 (6.4)	3 (1.3)
0～4歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5～9歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10～14歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
15～19歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20～29歳	5 (2.1)	5 (2.1)	3 (1.3)	3 (1.3)	0 0.0	2 (0.9)	0 0.0	0 0.0	2 (0.9)
30～39歳	1 (0.4)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 (0.4)	1 (0.4)
40～49歳	3 (1.3)	1 (0.4)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 (0.4)	0 0.0	2 (0.9)	0 0.0
50～59歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
60～69歳	8 (3.4)	5 (2.1)	1 (0.4)	1 (0.4)	0 0.0	3 (1.3)	1 (0.4)	3 (1.3)	0 0.0
70～79歳	10 (4.3)	7 (3.0)	3 (1.3)	3 (1.3)	0 0.0	4 (1.7)	0 0.0	3 (1.3)	0 0.0
80～89歳	19 (8.1)	15 (6.4)	11 (4.7)	9 (3.8)	2 (0.9)	3 (1.3)	1 (0.4)	4 (1.7)	0 0.0
90歳以上	6 (2.6)	4 (1.7)	3 (1.3)	2 (0.9)	1 (0.4)	1 (0.4)	0 0.0	2 (0.9)	0 0.0

() 内は平成22年10月1日現在人口（推計）による人口10万対

表2-2 新登録患者数（活動性分類・市町別） 平成22年1月1日～22年12月31日（単位：人）

区分 市町	活 動 性 結 核								潜在性 結核 感染症 (別掲) 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺外結 核 活 動 性	
		総 数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時そ 他の結 核菌陽性	登録時 菌陰性 その他		
			総 数	初回治療	再治療				
小松市	21 (19.4)	13 (12.0)	8 (7.4)	7 (6.5)	1 (0.9)	5 (4.6)	0 0.0	8 (7.4)	2 (1.8)
加賀市	19 (26.4)	15 (20.8)	8 (11.1)	7 (9.7)	1 (1.4)	7 (9.7)	0 0.0	4 (5.6)	0 0.0
能美市	10 (20.6)	8 (16.5)	4 (8.2)	3 (6.2)	1 (2.1)	2 (4.1)	2 (4.1)	2 (4.1)	1 (2.1)
川北町	2 (32.7)	1 (16.4)	1 (16.4)	1 (16.4)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 (16.4)	0 0.0

() 内は平成22年10月1日現在人口（推計）による人口10万対

表3-1 登録患者数（活動性分類・年齢階級別）

平成22年12月31日現在（単位：人）

区分 年齢階級	総数	肺結核活動性						肺外核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）	
		総数	登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他	治療中				観察中	
			初回治療	再治療								
総数	81 (34.5)	22 (9.4)	13 (5.5)	2 (0.9)	6 (2.6)	1 (0.4)	9 (3.8)	45 (19.2)	5 (2.1)	2 (0.9)	3 (1.3)	
0～4歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
5～9歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
10～14歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
15～19歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
20～29歳	7 (3.0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 (2.1)	2 (0.9)	2 (0.9)	0 0.0	
30～39歳	2 (0.9)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 (0.9)	0 0.0	0 0.0	3 (1.3)	
40～49歳	8 (3.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 (1.3)	4 (1.7)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
50～59歳	4 (1.7)	2 (0.9)	2 (0.9)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 (0.9)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
60～69歳	16 (6.8)	4 (1.7)	2 (0.9)	0 0.0	2 (0.9)	0 0.0	2 (0.9)	10 (4.3)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
70～79歳	13 (5.5)	4 (1.7)	2 (0.9)	0 0.0	2 (0.9)	0 0.0	1 (0.4)	7 (3.0)	1 (0.4)	0 0.0	0 0.0	
80～89歳	21 (8.9)	7 (3.0)	4 (1.7)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	12 (5.1)	1 (0.4)	0 0.0	0 0.0	
90歳以上	10 (4.3)	4 (1.7)	2 (0.9)	1 (0.4)	1 (0.4)	0 0.0	2 (0.9)	3 (1.3)	1 (0.4)	0 0.0	0 0.0	

()内は平成22年10月1日現在人口（推計）による人口10万対

表3-2 登録患者数（活動性分類・市町別）

平成22年12月31日現在（単位：人）

区分 市町	総数	肺結核活動性						肺外核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）	
		総数	登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他	治療中				観察中	
			初回治療	再治療								
小松市	33 (30.5)	5 (4.6)	3 (2.8)	0 0.0	2 (1.8)	0 0.0	5 (4.6)	22 (20.3)	1 (0.9)	2 (1.8)	0 0.0	
加賀市	27 (37.5)	9 (12.5)	6 (8.3)	1 (1.4)	2 (2.8)	0 0.0	2 (2.8)	14 (19.5)	2 (2.8)	0 0.0	1 (1.4)	
能美市	19 (39.1)	7 (14.4)	3 (6.2)	1 (2.1)	2 (4.1)	1 (2.1)	1 (2.1)	9 (18.5)	2 (4.1)	0 0.0	2 (4.1)	
川北町	2 (32.7)	1 (16.4)	1 (16.4)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 (16.4)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

()内は平成22年10月1日現在人口（推計）による人口10万対

表4-1 新登録患者数（市町・年齢階級別）

平成22年1月1日～22年12月31日（単位：人）

区分	管内	小松市	加賀市	能美市	川北町
総数	52	21	19	10	2
	(22.1)	(19.4)	(26.4)	(20.6)	(32.7)
0～4歳	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5～9歳	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10～14歳	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15～19歳	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	5	3	1	1	0
	(2.1)	(2.8)	(1.4)	(2.1)	0.0
30～39歳	1	1	0	0	0
	(0.4)	(0.9)	0.0	0.0	0.0
40～49歳	3	1	2	0	0
	(1.3)	(0.9)	(2.8)	0.0	0.0
50～59歳	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～69歳	8	3	2	3	0
	(3.4)	(2.8)	(2.8)	(6.2)	0.0
70～79歳	10	4	3	3	0
	(4.3)	(3.7)	(4.2)	(6.2)	0.0
80～89歳	19	7	10	1	1
	(8.1)	(6.5)	(13.9)	(2.1)	(16.4)
90歳以上	6	2	1	2	1
	(2.6)	(1.8)	(1.4)	(4.1)	(16.4)

() 内は平成22年10月1日現在人口（推計）による人口10万対

表4-2 登録患者数（市町・年齢階級別）

平成22年12月31日現在（単位：人）

区分	管内	小松市	加賀市	能美市	川北町
総数	81	33	27	19	2
	(34.5)	(30.5)	(37.5)	(39.1)	(32.7)
0～4歳	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5～9歳	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10～14歳	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15～19歳	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	7	3	1	3	0
	(3.0)	(2.8)	(1.4)	(6.2)	0.0
30～39歳	2	2	0	0	0
	(0.9)	(1.8)	0.0	0.0	0.0
40～49歳	8	4	3	1	0
	(3.4)	(3.7)	(4.2)	(2.1)	0.0
50～59歳	4	1	1	2	0
	(1.7)	(0.9)	(1.4)	(4.1)	0.0
60～69歳	16	4	6	6	0
	(6.8)	(3.7)	(8.3)	(12.3)	0.0
70～79歳	13	5	5	3	0
	(5.5)	(4.6)	(6.9)	(6.2)	0.0
80～89歳	21	10	9	1	1
	(8.9)	(9.2)	(12.5)	(2.1)	(16.4)
90歳以上	10	4	2	3	1
	(4.3)	(3.7)	(2.8)	(6.2)	(16.4)

() 内は平成22年10月1日現在人口（推計）による人口10万対

表5 登録患者受療状況（活動性分類・市町別）

平成22年12月31日現在（単位：人）

市町	活動性分類 医療区分	総数	活動性結核					肺外結核 活動性	不活動性 結核	活動性 不明	潜在性結核感染症（別掲）	
			結核		活動性						治療中	観察中
			登録時喀痰塗抹陽性	登録時その 他の結核菌 陽性	登録時 菌陰性・ その他	初回治療	再治療					
			初回治療	再治療								
管 内	総数	81	13	2	6	1	9	45	5	2	3	
	入院中	4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	
	外来治療中	25	11	2	5	1	6	0	0	2	0	
	治療なし	52	0	0	1	0	1	45	5	0	3	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小 松 市	総数	33	3	0	2	0	5	22	1	2	0	
	入院中	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	
	外来治療中	7	2	0	2	0	3	0	0	2	0	
	治療なし	23	0	0	0	0	0	22	1	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
加 賀 市	総数	27	6	1	2	0	2	14	2	0	1	
	入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外来治療中	10	6	1	1	0	2	0	0	0	0	
	治療なし	17	0	0	1	0	0	14	2	0	1	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
能 美 市	総数	19	3	1	2	1	1	9	2	0	2	
	入院中	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外来治療中	6	2	1	2	1	0	0	0	0	0	
	治療なし	12	0	0	0	0	1	9	2	0	2	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
川 北 町	総数	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
	入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外来治療中	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
	治療なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 結核患者管理状況

保健所では新感染症法にもとづき結核患者及び結核回復患者の症状について登録管理をしている。

また、結核患者のご家族及び接触者の方に対して定期外健康診断を実施している。

表6 結核登録状況

平成22年1月1日～22年12月31日（単位：人）

前年末総数 (A)	登 録			削 除					本年末総数 (A+B-C)
	新規	転入	計 (B)	死亡	治癒	転出	その他	計 (C)	
82	52	1	53	22	29	2	0	53	82

表7 結核患者家族検診実施状況

平成22年度 (単位:人)

対象者 (人)	受診者 数 (人)	受診率 (%)	健 診 結 果 (重複あり) (人)											
			ツベルクリン反応検査			Q F T検査				エックス線検査				
			受診者数	判 定		受診者数	判 定				受診者数	判 定		
				陽性	陰性		陽性	判定 保留	陰性	判定 不可		要治療 要精検	要観察	異常 なし
186	184	98.9	9	6	3	47	2	4	39	2	134	3	5	126

表8 接触者検診実施状況

平成22年度 (単位:人)

対象者 (人)	受診者 数 (人)	受診率 (%)	健 診 結 果 (重複あり) (人)											
			ツベルクリン反応検査			Q F T検査				エックス線検査				
			受診者数	判 定		受診者数	判 定				受診者数	判 定		
				陽性	陰性		陽性	判定 保留	陰性	判定 不可		要治療 要精検	要観察	異常 なし
185	182	98.4	1	1	0	94	7	6	76	5	87	3	3	81

表9 管理検診実施状況

平成22年度 (単位:人)

対象者 (人)	受診者 数 (人)	受診率 (%)	検診機関内訳 (人)				検診結果 (人)		
			保健所	委託 医療 機関	定期 病状 報告	他の 医療 機関等	要 医療者	要 観察者	観察 不要者
96	92	95.8	0	25	67	0	0	52	40

表10 保健指導実施状況 平成22年度 (単位:件数)

訪 問		来所相談		電話相談
実	延	実	延	延
81	318	48	145	1,432

(3) 結核対策特別促進事業

平成 22 年度実績

<p>事業者 研修会</p>	<p>対 象：外国人雇用事業主及び健康管理担当者 実施日：平成 22 年 7 月 12 日（月）午後 参加者 30 名 7 月 14 日（水）午前 参加者 51 名 7 月 14 日（水）午後 参加者 42 名 内 容：外国人労働者の健康管理 ・外国人結核患者の発病推移と発見過程の現状 ・職場における感染症発生予防のための健康管理 ・日常生活上の健康管理と疾病の早期受診について 講 師 保健所職員</p>
<p>服薬支援 研修会</p>	<p>対 象：医療機関等における結核患者服薬支援担当者 実施日：平成 23 年 1 月 15 日（土）10：00～12：00 会 場：小松市民病院 内 容：結核患者服薬支援研修会 1) 講話「結核患者服薬支援における関係機関のあり方及び連携について」 講 師（助結核予防会結核研究所保健看護学科長 永田容子先生 2) 事例紹介・意見交換 参加者：27 名（看護師等）</p>
<p>治療成功 のための 支援事業</p>	<p>○ コホート検討会（年4回予定）：診査会終了後に開催 実施日：平成22年 6月23日（水） 6件 平成22年 9月22日（水） 3件 平成22年12月22日（水） 7件 内 容：菌陽性肺結核患者の治療成績の判定および評価 検討対象：肺結核新登録患者（菌陽性）の内、治療終了者16名 参加者：感染症診査協議会委員、保健所長、保健所担当者</p> <p>○ DOTSカンファレンス（20回開催、26件） 実施日：南加賀保健所：4/9（1件）、6/24（1件）、7/6（1件）、8/27（1件） 9/7（1件）、9/10（3件）、9/16（2件）、10/26（1件） 11/1（1件）、11/11（1件）、11/24（1件）、12/10（1件） 2/22（3件）、3/10（1件） 加賀地域センター：4/2（1件）、7/9（2件）、8/16（1件）、11/11（1件） 12/24（1件）、3/9（1件） 会 場：小松市民病院、芳珠記念病院、能美市立病院、 田谷泌尿器科医院、川北温泉クリニック 対 象：塗抹陽性肺結核患者及び主治医が服薬支援を必要と認めた患者 （退院時に病棟から連絡）（転院時に保健所から連絡） 参加者：病院主治医、担当看護師、薬剤師、地域医療連携室等 保健所保健師</p>

2 感染症予防

(1) 感染症発生状況

感染症発生動向調査

感染症の蔓延を防止するため、医療機関の協力を得て患者の発生状況や、病原体検出結果等の流行実態を早期かつ的確に把握し、情報を速やかに地域に還元することにより、有効かつ適切な予防対策の確立に資することを目的として通年実施している。

平成 21 年度は、世界的に新型インフルエンザ (H1N1) が流行し、当所においても国・県のガイドライン等に基づいた専門相談窓口の設置など相談体制の整備を行った。新型インフルエンザ (H1N1) は平成 22 年 4 月 1 日より季節性インフルエンザとなり、平成 22 年度のインフルエンザ相談件数は 45 件

と 21 年度より大幅に減少した。

感染症発生状況 (全数把握) では、腸管出血性大腸菌感染症が 7 件と前年度に比べ減少した。感染症予防相談は 508 件であり、感染性胃腸炎 (ノロウイルス含む) が 181 件と多く、ついで腸管出血性大腸菌感染症 82 件であった。

ノロウイルスについては、施設内感染 (疑い含む) のあったところへ流行期早期に訪問し、予防対策について話し合った。医療機関・高齢者施設・旅館等から、感染性胃腸炎の患者対応や二次感染予防に関する相談が多く寄せられた。

表 11-1 感染症発生状況 (全数報告)

病類別		年度						
		16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度
一類		—	—	—	—	—	—	—
二類	結核 (H19 年度より)	/	/	/	57 件	58 件	39 件	60 件
	その他	—	—	—	—	—	—	—
三類	コレラ	1 件	—	—	—	—	—	—
	細菌性赤痢	1 件	—	—	1 件	—	—	—
	腸管出血性大腸菌感染症	17 件	8 件	13 件	20 件	20 件	28 件	7 件
	腸チフス	—	—	—	—	—	—	1 件
	バラチフス	—	—	—	—	—	—	—

表 11-2 感染症予防相談状況 (延件数)

	平成 21 年度				平成 22 年度			
	訪問相談	来所相談	電話相談	計	訪問相談	来所相談	電話相談	計
感染症総数	238 件	74 件	5,442 件	5,754 件	50 件	9 件	449 件	508 件
(再掲) 腸管出血性大腸菌感染症	128 件	36 件	412 件	576 件	12 件	0 件	70 件	82 件
(再掲) 予防接種	2 件	0 件	19 件	21 件	0 件	1 件	23 件	24 件
(再掲) 感染性胃腸炎 (ノロウイルス含む)	22 件	7 件	147 件	176 件	12 件	2 件	167 件	181 件
(再掲) アタマシラミ	0 件	0 件	6 件	6 件	0 件	0 件	2 件	2 件
(再掲) インフルエンザ (H1N1 含む)	81 件	28 件	4,766 件	4,875 件	6 件	0 件	39 件	45 件

表12 感染症発生动向調査月別患者報告数(週報)

平成22年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ		管内	167	25	39	7	1	0	0	0	0	0	1	7	247
		県内	899	314	80	20	9	2	0	0	0	3	8	43	1,378
RSウイルス感染症		管内	18	66	41	7	4	4	0	0	3	12	21	90	266
		県内	105	235	131	49	24	7	1	0	10	27	63	195	847
咽頭結膜熱		管内	9	16	11	10	11	6	7	7	61	19	19	43	219
		県内	28	36	47	34	46	87	37	67	139	99	72	199	891
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		管内	39	65	92	67	64	121	39	18	42	52	49	100	748
		県内	207	348	402	413	380	557	239	137	187	225	282	776	4,153
感染性胃腸炎		管内	218	286	406	243	276	212	95	119	160	99	190	522	2,826
		県内	968	1,472	1,730	1,453	1,168	699	294	323	442	316	813	1,966	11,644
水痘		管内	28	39	84	40	17	49	14	15	14	17	29	63	409
		県内	273	234	343	251	255	401	112	85	128	113	213	492	2,900
手足口病		管内	1	3	0	8	5	19	82	73	64	30	8	0	293
		県内	12	35	29	43	58	408	683	351	270	74	31	37	2,031
伝染性紅斑		管内	0	2	0	4	3	9	8	6	2	4	4	2	44
		県内	0	3	7	7	10	53	43	19	18	22	14	60	256
突発性発疹		管内	21	7	14	11	16	16	13	20	16	9	13	9	165
		県内	53	51	54	65	53	68	81	89	89	55	54	55	767
百日咳		管内	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
		県内	0	0	4	0	0	1	2	0	1	2	2	1	13
ヘルパンギーナ		管内	0	0	0	0	0	63	79	27	15	2	1	1	188
		県内	0	0	4	15	11	215	447	155	39	10	1	6	903
流行性耳下腺炎		管内	25	33	38	24	47	49	29	41	37	28	40	84	475
		県内	109	180	344	316	334	445	178	163	183	129	138	201	2,720
眼科	急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	1	0	0	0	2	1	0	1	0	0	5
	流行性角結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	1	2	10	11	7	20	11	14	16	11	13	12	128
基幹	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	管内	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		県内	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4
	無菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	3
	マイコプラズマ肺炎	管内	11	9	12	15	17	15	4	17	9	8	13	13	143
		県内	12	9	13	15	17	15	4	10	9	8	13	13	138
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

表 1 3 感染症発生動向調査月別患者報告数(月報)

平成22年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
STD	性器クラミジア感染症	管内	1	1	2	1	3	0	4	2	0	0	0	0	14
		県内	17	10	13	13	24	13	21	19	10	16	21	10	187
	性器ヘルペスウイルス感染症	管内	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
		県内	10	6	5	5	8	5	6	6	8	5	5	3	72
	尖形コンジローム	管内	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4
		県内	3	4	2	4	2	3	5	4	3	5	1	0	36
淋菌感染症	管内	0	0	3	0	1	1	1	1	2	0	0	0	8	
	県内	12	2	8	4	9	7	9	14	4	8	2	1	80	
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	管内	10	1	7	2	4	6	5	7	5	0	0	0	47
		県内	30	18	30	27	24	21	15	28	18	10	21	21	263
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	薬剤耐性緑膿菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	3	0	1	0	0	0	2	2	2	0	10

(2) インフルエンザ様集団かぜ発生状況

(表 14-1)、(表 14-2)

平成 22 年度冬期の発生状況として、23 年 1 月 18 日に小松市立国府小学校で集団発生があり、ウイルスサーベイランスの結果からは新型インフルエンザが優勢であった。

また、3 月以降は B 型の出現も見られたが、集団発生としては 3 月 17 日の加賀市立南郷小学校の報告が最後であった。

表 14-1 市町別インフルエンザ様集団かぜ発生状況(平成22年度)

区分	石川県	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町
施設数		104	54	34	12	4
発生施設数	66	7	5	1	1	0
在籍数(人)	2,844	278	223	17	38	0
患者数(人)	1,254	123	96	8	19	0
措置状況	休校	4	0	0	0	0
	学年閉鎖	26	5	3	1	0
	学級閉鎖	36	2	2	0	0

注: 在籍者及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計

注: 同一施設で措置が変更した場合は、休校・学年閉鎖・学級閉鎖・授業打ち切りの措置規模の大きい方をカウントしてある。

表 14-2 感染症発生動向調査月別患者報告数

平成22年度 (単位:人)

定点	疾患名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
インフルエンザ		管内	7	1	0	0	0	0	0	1	7	409	470	580	1,475
		県内	20	9	2	0	0	0	3	8	43	2,307	3,479	4,996	10,867

(3) エイズ相談状況 (表 15-1) (表 15-2)

エイズに対する正しい知識の普及及び、感染者の早期発見・早期治療を目的に、エイズ相談窓口を設け、検査を希望する場合は HIV 抗体検査を実施している。平成 17 年 1 月 1 日からエイズ予防対策をより一層推進するため、HIV 迅速検査免疫クロマト法を導入した。平成 21 年度は受検者の利便性を考慮し、午前中及び夜間の検査について、予約なしで迅速検査を行った。平成 22 年 3

月からは、午前中のみ迅速検査を行い、夜間は PA 法とし、全て予約制へ変更している。

HIV 検査普及週間及び世界エイズデーでは、JR 小松駅等で街頭キャンペーンを実施し、検査日の記入されたポケットティッシュを配布した。また、若者の受検者の増加を図るため管内の大学や自動車学校等においても、検査についての啓発普及を行った。

表 15-1 エイズ相談実施状況

平成 22 年度 (単位: 件)

	相談件数			相談内容				相談方法		
	男	女	計	相談のみ	病院紹介	検査依頼	計	来所	電話	計
昼間	135	72	207	33	0	174	207	179	28	207
夜間	39	19	58	1	0	57	58	57	1	58
合計	174	91	265	34	0	231	265	236	29	265

表 15-2 HIV 抗体検査実施状況

平成 22 年度 (単位: 件)

	受検者数			陽性者数			(再掲) 迅速法による検査		
	男	女	計	男	女	計	受検者	要追加検査数	陽性者数
10 歳代	10	8	18	—	—	—	5	—	—
20 歳代	41	41	82	—	—	—	60	—	—
30 歳代	67	23	90	—	—	—	65	—	—
40 歳代	27	3	30	—	—	—	20	—	—
50 歳代	11	0	11	—	—	—	4	—	—
計	156	75	231	—	—	—	154	—	—
(再掲) 夜間			57			—		—	—

(4) 性感染症相談状況 (表 16-1) (表 16-2)

性感染症に対する正しい知識の普及及び、感染者の早期発見・早期治療を目的に、性感染症相談

窓口を設け、検査を希望する場合はクラミジア及び梅毒検査を実施している。

表 16-1 性感染症相談検査実施状況

平成 22 年度 (単位: 件)

区分	相談件数	梅毒血液検査				性器クラミジア感染症血液検査				
		計	陽性	陰性	判定保留	計	陽性	偽陽性	陰性	判定保留
男	106	97	3	94	—	97	10	3	84	—
女	70	59	1	58	—	59	15	3	41	—
計	176	156	4	152	—	156	25	6	125	—

表 16-2 性感染症検査 性別・年齢別実施件数 平成 22 年度 (単位:件)

区分	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
男	97	5	24	42	19	4	3
女	59	7	29	20	3	0	0
計	156	12	53	62	22	4	3

(5) 肝炎ウイルス相談事業実施状況 (表 17)

肝炎ウイルスに対する正しい知識の普及及び、
感染者の早期発見・早期治療を目的に、肝炎ウイ

ルス相談窓口を設け、検査を希望する場合は肝炎
ウイルス検査を実施している。

表 17 肝炎ウイルス相談検査状況 平成 22 年度 (単位:件)

区分	HCV 抗体検査						HBs 抗原検査			相談 件数
	計	陰 性	中力価及び低力価			高 力 価	計	陰 性	陽 性	
			HCV 抗原検査		陽 性					
			陰 性							
HCV-RNA		陽 性								
陰性			陽性							
男	89	89	-		-	-	89	89	-	160
女	53	52	1	-		-	53	53	-	
計	142	141	1	-		-	142	142	-	

(6) 石川県緊急肝炎ウイルス検査事業実施状況 (表 18)

県民の肝炎ウイルス検査の受検機会を拡大し、
肝炎の早期発見、治療の推進を図ることを目的と

し、肝炎ウイルス検査を医療機関においても実施
している。

表 18 石川県緊急肝炎ウイルス検査状況 平成 22 年度 (単位:件)

	HCV 抗体検査						HBs 抗原検査			
	計	陰 性	中力価及び低力価			高 力 価	計	陰 性	陽 性	
			HCV 抗原検査		陽 性					
			陰 性							
HCV-RNA		陽 性								
陰性			陽性							
計	933	926	4	-		-	3	933	927	6

(7) 肝炎対策推進事業

ア 肝炎ウイルス感染者フォローアップ事業

(ア) 目的

診断後間もない肝炎ウイルス感染者が自身の病態を正しく認識し、長期間にわたる経過観察や治療を継続して行えるよう支援する。

(イ) 開催日

平成22年12月6日(月) 14:30~17:00

(ウ) 参加者

平成18年度から22年度の市町の肝炎ウイルス検診で感染者と確認された者。

ミニ講話【19組、22名参加】

個別相談【13組、16名参加】

(エ) 内容

#ミニ講話「肝炎について」

講師：金沢大学附属病院

光学医療診療部准教授 酒井 明人医師

#個別相談

助言者：金沢大学附属病院

光学医療診療部准教授 酒井 明人医師

小松市民病院

副院長 亀田正二医師

イ 石川県医師会肝炎研修会(県医師会委託)に協力

(ア) 目的

肝疾患の診療体制を整備し、かかりつけ医との連携を推進するため、医療従事者研修会を開催する。

(イ) 開催日

平成22年12月1日(水) 19:00~

(ウ) 内容

「南加賀地区における肝炎ウイルス検診の現状」

小松市民病院 副院長 亀田正二医師

「石川県肝炎診療連携と肝炎最新情報」

金沢大学医学部附属病院 光学医療診療部

准教授 酒井 明人医師

(8) 「世界エイズデー」に係る普及啓発事業

ア 目的

多様な情報が氾濫する中、若者のエイズや性感染症の蔓延を防止し、性に関する正しい知識および命の大切さについて学びを深めてもらうため、川北中学校の2年生及び3年生の生徒を対象に、講演会を開催する。

イ 内容

<打合せ>

①・日時：平成22年9月21日(火)

13時00分~14時30分

・内容：「世界エイズデー講演会」の講演内容について

・参加者：講師、川北中学校養護教諭、川北町保健師、当所担当者

②・日時：平成22年10月20日(水)

11時30分~12時30分

・講演：「性と生命を考えよう」

講師 菜の花助産院

助産師 植田 幸代 氏

・対象者：川北中学校 3年生

・会場：川北中学校

③・日時：平成22年10月21日(木)

13時40分~14時40分

・講演「性と生命を考えよう」

講師 菜の花助産院

助産師 植田 幸代 氏

・対象者：川北中学校 2年生

・会場：川北中学校